

DXハイスクール 取組概要

兵庫県立小野工業高等学校（機械工学科・電子科）

進展する産業社会で主体的に生きるデジタル人材の育成

取組

DXラボおよびデジタルツールの充実と活用の強化

デジタルものづくりを生徒が自由に利用できるようにデジタルファブリケーション機器を配備したDXラボを整備。ラボを活用した教科横断型カリキュラムをプロジェクト型学習を推進することで、座学と実習の連携を図る。また、メディアコンテンツ配信システムを活用し、合同課題研究発表会などの成果発表の場を校外にも広げていくことで、学科横断的な内部連携から校外活動へと繋げていく。



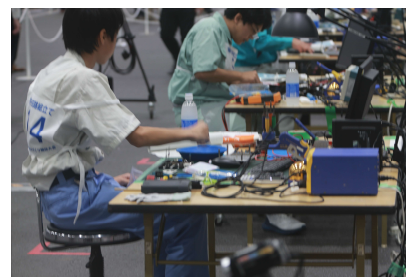
（課題研究合同発表会）

高度な専門技術・技能の習得をサポート

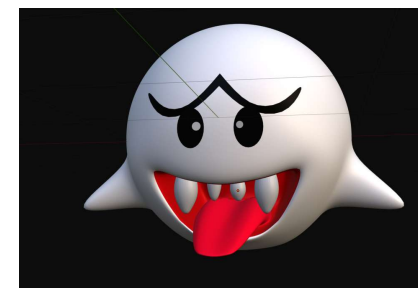
外部講師や連携機関による講習や研修の実施を通して、高度な専門技術・技能習得をサポートすることにより、難易度の高い資格の取得や各種のコンテストに挑戦する姿勢を育む。

実践的な体験活動を通じた生徒の探究心の育成

大学や地域企業との連携および外部講師の招聘による出前授業などを通じて生成AIやデジタルものづくりなどの先端のデジタル技術を体験することにより、自らを課題を設定し解決する力を養う。



（若年者ものづくり競技大会）



（Blenderによるモデリング）



（DXラボ）

育成する生徒像・取組による効果

高度な専門技術・技能を身に付けることで高度なデジタル技術を活用し課題解決をすることができる人材に育てる。



大学理系学部進学率：4.4%（令和5年度実績値）
：10%（目標値）※令和10年度

情報Ⅱ等の履修率：100%（令和5年度実績値）
：100%（令和6年度実績値）